

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 6 回玉里地区義務教育学校開校準備委員会																																																								
開 催 日 時	平成 3 0 年 6 月 2 6 日 (火) 1 9 時 0 0 分～																																																								
開 催 場 所	生涯学習センターコスモス 集会室																																																								
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>大平 勇一</td> <td>大石 幸子</td> <td>伊藤 岳快</td> <td>大山 敏治</td> </tr> <tr> <td>室町 恭司</td> <td>遠藤 康子</td> <td>鬼束 久也</td> <td>中山 恵弘</td> </tr> <tr> <td>大関 律子</td> <td>田中 周</td> <td>稲田 義弘</td> <td>園部 文夫</td> </tr> <tr> <td>新妻 広章</td> <td>圓尾 康子</td> <td>高野 郁</td> <td>田山 恵子</td> </tr> <tr> <td>羽鳥 文雄</td> <td>大枝 利任</td> <td>大島 利則</td> <td>長谷川忠徳</td> </tr> <tr> <td>藤田 泰正</td> <td>大和田智弘</td> <td>戸田 見成</td> <td>大山 徳</td> </tr> <tr> <td>荒井 敦</td> <td>相澤 博文</td> <td>青木 寿美</td> <td>山口 祐甚</td> </tr> <tr> <td>向後 鷹宏</td> <td>菊地 淳平</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>戸田 大我</td> <td>埴 千春</td> <td>鈴木 秀和</td> <td>櫻井 勝美</td> </tr> <tr> <td>山口 裕希</td> <td>鶴町 文男</td> <td>田上 義明</td> <td>亀井 優</td> </tr> <tr> <td>室町 弥</td> <td>大槻 良明</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>長津 智之</td> <td>白井 律子</td> <td>吉永 成範</td> </tr> <tr> <td>菅谷 清美</td> <td>藤田 誠一</td> <td>長谷川勝彦</td> <td>植田 薫</td> </tr> <tr> <td>外之内信浩</td> <td>入野裕美子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	大平 勇一	大石 幸子	伊藤 岳快	大山 敏治	室町 恭司	遠藤 康子	鬼束 久也	中山 恵弘	大関 律子	田中 周	稲田 義弘	園部 文夫	新妻 広章	圓尾 康子	高野 郁	田山 恵子	羽鳥 文雄	大枝 利任	大島 利則	長谷川忠徳	藤田 泰正	大和田智弘	戸田 見成	大山 徳	荒井 敦	相澤 博文	青木 寿美	山口 祐甚	向後 鷹宏	菊地 淳平			戸田 大我	埴 千春	鈴木 秀和	櫻井 勝美	山口 裕希	鶴町 文男	田上 義明	亀井 優	室町 弥	大槻 良明			加瀬 博正	長津 智之	白井 律子	吉永 成範	菅谷 清美	藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫	外之内信浩	入野裕美子		
大平 勇一	大石 幸子	伊藤 岳快	大山 敏治																																																						
室町 恭司	遠藤 康子	鬼束 久也	中山 恵弘																																																						
大関 律子	田中 周	稲田 義弘	園部 文夫																																																						
新妻 広章	圓尾 康子	高野 郁	田山 恵子																																																						
羽鳥 文雄	大枝 利任	大島 利則	長谷川忠徳																																																						
藤田 泰正	大和田智弘	戸田 見成	大山 徳																																																						
荒井 敦	相澤 博文	青木 寿美	山口 祐甚																																																						
向後 鷹宏	菊地 淳平																																																								
戸田 大我	埴 千春	鈴木 秀和	櫻井 勝美																																																						
山口 裕希	鶴町 文男	田上 義明	亀井 優																																																						
室町 弥	大槻 良明																																																								
加瀬 博正	長津 智之	白井 律子	吉永 成範																																																						
菅谷 清美	藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫																																																						
外之内信浩	入野裕美子																																																								
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度スケジュールについて ・専門部会について ・校名の選定について 																																																								
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)																																																								
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																								
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0人)																																																								

【教育長あいさつ】

大変お忙しいところ、会議のご出席ありがとうございます。

この会議は、16回目を迎えます。新しく委員になられた方には、事前に今までの経緯等を説明させていただきました。

それから、これまでの協議により、建物の大筋の見通しはできました。

それに伴って今後はソフト面が重要になってきます。皆さんに協議していただきたいと思います。特に、校名を早く決めなければ、次の作業には入れません。校歌を作るとか、校旗を作る等になりますが、できるだけ早く校名を決定したいと考えており、重要な決定事項になるかと思えます。皆さんの知恵を出し合ってください、すばらしい学校にできるよう協議を進めていければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

昨年度に引き続きまして、委員長を務めさせていただきます、玉里中学校の羽鳥と申します。

平成33年度玉里地区義務教育学校の開校に向けて、これまで15回に亘りまして話し合いを行ってきました。本日は16回ということですが、委員も16名新しく入れ替わったということで、新しい視点で話し合いを進めていければと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【議事前の確認事項】

当日配布1・当日配布2に基づき事務局より説明

事務局 議事に入る前に、事務局より2点報告・確認をさせていただく。

1点目は、本会議の名称について、昨年度までは、「玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会」ということで、小中一貫校の建設計画について、主に協議をいただいていたところだが、本年度からは、建設以外の部分についても協議をしていくことから、会議の名称を「玉里地区義務教育学校開校準備委員会」と改めた。会議の設置根拠となる要綱については、当日配布資料1として配布させていただいたので、確認をお願いしたい。

2点目として、本会議の傍聴に関する取扱いについて、本会議は、公開を原則とし、誰でも傍聴できるように、これまで、事前に会議開催の日時等を市のホームページ上でお知らせしているが、これまで、傍聴に関する手続きなど、具体的なことが定められていなかった。

昨年度には、メディア関係の方が1名傍聴をされている。

このたび、当日配布資料2のとおり、あらためて基準として規定したので、確認をお願いしたい。

また、準備委員会開催後の会議録については、出席委員及び欠席委員の氏名を表示した上で、発言者の発言内容ごとの要点記録として、ホームページ等で公表することについても、あらためてご了承をお願いしたい。

【協 議】

- (1) 本年度スケジュールについて
- (2) 専門部会について

資料1、資料2に基づき、事務局より説明

事務局 【議事1：本年度スケジュールについて】

議事(1)の本年度のスケジュールについて、資料1をご覧いただきたい。まず、全体会である準備委員会についてだが、協議いただく内容としては、学校の名称(校名)や専門部会からの報告事項の協議を予定しており、本日の会議が今年度の第1回として、今後、9月・12月・3月の計4回程度の会議を計画している。

次に、「小中一貫校整備」、こちらは、新校舎の建設に関することになるが、一昨年から協議検討いただき、昨年度には基本設計がまとまったので、本年度については、来年度の校舎建設工事の着工に向け、詳細設計を進めていく。

次に、各専門部会だが、各部会の内容については、議事(2)であらためて説明させていただくが、今年度のスケジュールとしては、総務・通学部会では、校章・校歌・制服など、4回程度の開催を計画している。

次に、学校運営部会においては、教職員で構成することになるが、組織している小中連携・小小連携推進委員会との関連があるので委員会と併せ、適宜、部会の開催を計画していければと考えている。

最後に、PTA部会だが、PTA組織編制や規約などの内容について、年度末に1回程度の開催を計画している。

【議事2：専門部会について】

次に、議事(2)の専門部会について、資料2の参考1をご覧いただきたい。枠内に組織図があるが、専門部会については、準備委員会のもとに、3つの部会、「総務通学部会」、「学校運営部会」、「PTA部会」を設置して、部会で検討・協議した内容を準備委員会で審議することとなる。

次に、組織図の下、参考2では、具体的な検討項目を記載している。

①総務通学部会では、校章・校歌・制服・体操服・通学に関する事などについて、②学校運営部会では、教育課程、学校行事、施設備品(移転計画)、交流事業について、③PTA部会では、PTA組織の運営や規約、現在のPTA組織の解散について、検討協議を行う。

各部会の委員の構成につきましては、資料2の「委員」の欄をご覧いただき

たい。委員の構成については、準備委員会設置要綱において、定められており、総務・通学部会では、学校関係者職員、保護者代表、地域代表者、学校運営部会では、学校関係者職員、PTA部会では、学校関係者職員、保護者代表とされている。

人数については、定めがないため、事務局案として総務・通学部会を11名、学校運営部会を4名、PTA部会を8名として人数を記載させていただいた。本日は、はじめに部会の構成人数について、協議をお願いしたい。

次に、部会員の欄だが、教職員につきましては、あらかじめ、割り当てをさせていただいているが、総務・通学部会の構成について、保護者代表として、各小中学校のPTA役員から1名ずつ、計4名、地域代表者として、各学区区長より1名ずつ、計3名を選出していただきたいと考えている。続いて、PTA部会についてだが、保護者代表については、各小中学校のPTA役員より1名ずつ、計4名選出していただきたいと考えている。それぞれの部会の割り当てについて、話し合ってください、委員の構成を決定できればと思う。

また、各専門部会においては、下段にある設置要綱第8条第4項の規定により、部会長、副部会長を決めることとなるが、1回目の部会開催時に決定したいと考えているので、よろしくをお願いしたい。

別紙1のとおり、専門部会の委員構成を確認した。

【協 議】

(3) 校名選定について

資料3に基づき、想定される校名の選定方法5案を、事務局より説明

ア：準備委員会内で決定する

①各委員が校名案を出し、準備委員会場で話し合い、校名候補を決定

[各委員の考える校名案を出し合い、その場で校名候補を決定]

②各委員がまとめた選出母体の校名案を準備委員会で話し合い、校名候補を決定

[各委員が選出母体からの校名案（保護者からの案・地区からの案など）を取りまとめ、それを持ち寄る（複数可）。それらを準備委員会場で話し合い、校名候補を決定]

③校名案を準備委員会場で出し合い、その校名案を示して児童、生徒、保護者、地区等からの投票により校名候補を決定

[各委員の考える校名案を出し（複数可）、それらの校名案を準備委員会だよりに掲載し、投票のような形で決定]

イ：公募により決定する

④校名案を児童、生徒、保護者、地区等から募り準備委員会において校名候補を決定

[準備委員会だよりと校名募集用紙を兼ねるものを発行し、公募する]

⑤校名案を全市民から募り、準備委員会において校名の候補を決定

[④の方法を、市全域に対象範囲を拡大したもの。広報おみたま・市ホームページに掲載し、公募する]

参考1-2に基づき、想定される校名の組み合わせパターン8案を事務局より説明

- ① 小美玉市立（ ）義務教育学校
- ② 小美玉市立（ ）学園
- ③ 小美玉市立（ ）小中学校
- ④ 小美玉市立（ ）小中一貫校
- ⑤ 小美玉市立（ ）学校
- ⑥ 小美玉市立義務教育学校（ ）学園
- ⑦ 小美玉市立（ ）学園義務教育学校
- ⑧ 小美玉市立小中一貫校（ ）学園

この組み合わせの（ ）内に入る言葉を、準備委員会内で決定する場合には、アの準備委員会内で決定する方法となり、（ ）内に入る言葉を児童・生徒などから募集する場合には、イの公募により決定する方法を選択することになると考えている。

委員長 選定方法について意見を聞きたい。
各小中学校グループで協議していただければと思う。

グ ル ー プ 協 議

玉里小 選定までの流れが、明確に見えた方が良いため、公募の形が良い。
在学している児童・生徒だけではなく、地域に開かれた学校を目指し、幅広く募集したい。

玉里北小 ④の公募の形を取りたい。
募集範囲は、玉里地区の方としたい。
自由記述となると難しいため、ある程度言葉を決めて公募できると良い。

玉里東小 ④の公募の形を取りたい。

玉里中 ④の公募の形を取りたい。
参考1-2の8案では、数が多いため、ある程度絞って募集したい。

委員長 いずれのグループも公募という意見となった。
公募による選定の流れについて、事務局より説明をお願いしたい。

資料4に基づき、公募による選定の流れを以下のとおり事務局より説明

7月19日（木） 区長便において、「準備委員会だより」に校名募集要項及び応募用紙の配布
市ホームページにおいて、校名募集案内の掲載

7月20日（金） 玉里小学校、玉里東小学校、玉里北小学校、玉里中学校
児童及び生徒に校名募集要項及び応募用紙の配布

市役所玉里総合支所、生涯学習センターコスモス、玉里B&G海洋センターにおいて、応募
用紙・応募箱の設置

8月31日（金） 校名募集締め切り【募集期間：7月20日（金）～8月31日（金）】

9月下旬 準備委員会開催
校名募集集計結果の報告及び校名案の決定

12月 市議会において校名の決定

委員長 本日の準備委員会内で決めるのは、どういう形で公募するか、自由記述と
するか、あるいはある程度案を絞るかだが、良い意見はあるか。

委員 参考1-2の8案全てを候補とするのは多い。いくつかに絞り、その他と
して自由記述欄を設けてはどうか。

委員長 自由記述では書きづらいのではないか。

委員 小学校・中学校と聞けば学校の種類が分かる。
校名を聞いた時に学校の種類が分かると良い。

委員 参考1-2の8案のうち、⑥～⑧は校名として長い。
校名に学校と学園の両方の言葉が入っているのは良くないと思う。

委員 「義務教育学校」などの後ろ部分は、望ましいものを教育委員会で提示して
もらいたい。後ろ部分を決定し、公募をかけるのはどうか。

委員長 参考1-2の⑥～⑧は長いとなると、①～⑤となるが、準備委員会内での
意見を踏まえて教育委員会で候補を絞るか、それとも準備委員会内で絞る
か。

事務局 校名を全て募集する案と、校名候補を絞ってから募集する案との2案が出た
と思う。

校名を全て募集する場合には公募、校名候補を絞ってから募集する場合には
投票となると考えている。

委員長 意見はあるか。

委員 後ろにつく言葉でニュアンスも変わってくるため、参考1-2の①「義務
教育学校」の形で、（ ）内の言葉を公募するという方法はどうか。

委員長 話し合いを聞いていると「玉里」という地名が出ている。

各小中学校の4校全てに「玉里」が入っているため、「玉里」を入れて公募
する方法もあると思う。

委員 地名が入らないとどこの学校なのか分からないため、「玉里」を入れて公募
する方法が良いと思う。

また、「学園」は私立のようなイメージがある。

委員長 参考1-2の①~⑧の()内に「玉里」を入れて公募するのはどうか。
そしてその他に自由記述の欄を設けてはどうか。

事務局 その方法となると、選定方法が公募ではなく投票に変わってくる。
資料3の③となると思うがいかがか。

参考1-2の①~⑧の()内に「玉里」という言葉を入れた時点で、公募ではなく、投票という選定方法になると考えられる。

委員長 資料3の③と⑤、つまりは投票と公募の折衷案という考えで良いか。

事務局 準備委員会内で候補を決めるのであれば、あくまで投票という選定方法となると考えている。

委員 校名候補をいくつか出した上で、自由記述欄を設けておき、それ以外に案がある場合に記入してもらおうという募集方法は可能か。

事務局 可能である。

委員長 資料3の③に近い選定方法で、参考1-2の()内に「玉里」という校名を入れた上で投票してもらうほか、その他に意見がある場合に自由記述欄に記入してもらおうという方法で良いか。

委員 校名を全て募集する形での公募は難しいので、「玉里」を入れることが既に決まっているのであれば、「玉里」を入れるという原則のもとで公募をしてはどうか。

委員 「玉里」を入れるという条件を付けての公募で良いと思う。

委員長 「玉里」を入れるという条件を付け、公募という選定方法で良いか。

事務局 参考1-2のとおり、校名の組み合わせは8案ある。
先ほどあった⑥~⑧案は長いという意見を踏まえて削除して良いか確認したい。

①~⑤案の()内に「玉里」を入れた上で、良いと思うものを投票してもらい、①~⑤案以外に意見がある場合には、⑥その他として自由記述欄に記入してもらおう形で良いか。

①小美玉市立玉里義務教育学校

②小美玉市立玉里学園

③小美玉市立玉里小中学校

④小美玉市立玉里小中一貫校

⑤小美玉市立玉里学校

⑥その他()

委員長 何か意見はあるか。

意見なし

委員長 その選定方法で進めさせていただく。

「玉里」は漢字で良いか。

漢 字 で 良 い と い う 声

漢字で進めていく。

委 員 校名に「小美玉市」は入れるか。

委員長 「小美玉市立」を校名の先頭に入れる。

事務局 繰り返しの確認になるが、公募ということで、参考1-2の①～⑤の選択と⑥の自由記述により進めていきたいと思う。

(3) その他

次回の各会議の日程について事務局より説明。

事務局 第17回準備委員会を9月下旬に開催予定とする。

募集期間を夏休み期間中とし、集計結果を準備委員会内で報告する。

第1回総務・通学部会は8月下旬を開催予定とする。

いずれの会議においても、改めて通知する。

質疑応答

委 員 応募用紙はどのように配布するか。幼稚園は配布されるか。

事務局 「準備委員会だより」に応募用紙を掲載し、区長便において玉里地区に全戸配布を予定している。

各小中学校および幼稚園には学校、幼稚園を通して配布してもらう。

委 員 応募用紙の回収についてはどのように実施するか。

事務局 応募箱を市役所玉里総合支所、生涯学習センターコスモス、玉里B&G海洋センターに設置し回収するほか、メール、ファックスでも募集を受け付ける。

児童・生徒には学校を通して、応募用紙を配布・回収してもらい、事務局が後日回収に伺う。

委 員 学校に地域の人が応募用紙を持参した場合には受け取ってよいか。

事務局 お願いしたい。

委 員 専門部会に係るPTA部会についてだが、現在の小中学校のPTAの形態を踏襲するのか。

事務局 事務局としては、どのように組織していくかはまだ決まっていないが、各小学校・中学校も入ってくるため、大きく変わることが予想される。そのため、先行事例を参考にしながら、部会の中で検討したい。

委 員 各小中学校の中でPTA役員の成り手がいない理由として、どのように考えているか。

事務局 PTA役員は、会議等の出席も多く負担が大きいため、成り手がなかなか決まらないという実情があると考えている。

委員 P T Aの目指しているところがずれており、組織のための会議になってしまっている。例えば、会議の結果を戻す先がない。

P T Aの組織の在り方を変えていく必要がある。

まずは、P T Aの組織を作るか作らないかからの議論が必要である。

事務局 学校とも意見を踏まえながら、考えていきたい。

委員 P T A組織の目的を良く考え、進めてもらいたい。

副委員長 P T Aの存続についての議論も踏まえ、部会の在り方を確認しながら今後も進めていきたいと思う。

2 0 : 3 6 閉会